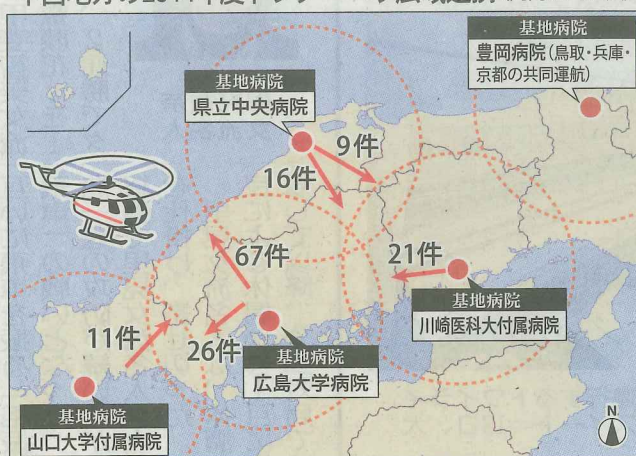


広島↓島根西部が最多

昨年度67件
2年連続
総数30件増150件

ドクターヘリ広域出動

中国地方の2014年度ドクターヘリ広域連携 (円内は70km圏)



中国地方で各県の医療用ヘリコプター(ドクターヘリ)が県境を越えて連携する広域連携で、2014年度の運航実績がまとまった。自前のヘリを持たない

鳥取県を除く、4県の総出動件数は、運用を始めた13年度に比べ30件増の150件で、地域別では、広島県から島根県西部への出動が前年度に続き最多の67件だ

連携は13年5月に始まり、島根県立中央病院(出雲市)など各県の基地から70km圏外の現場に、原則隣のドクターヘリが出動する。14年度の広島県から島根県西部以外の内訳は、山口県から島根県西部11件▽島根県から鳥取県中部16件▽岡山県から広島県東部21件▽広島県から山口県東部26件だった。

3月に浜田市金城町の中国横断自動車道広島浜田線で発生した、トラックと観光バスの衝突事故では、広島県のヘリが負傷者1人を同県内の病院に運んだ。高速道路の事故で隣のヘリが出動したのは、島根県内

では初めて。
15年度は、運航費用の負担が従来の出動側から要請側になる。島根県は14年度に比べて他県への要請が3割程度多くなるとみており、収入を差し引いた負担額を、14年度より約1700万円多い2300万円程度と推計している。